

ある観光客

「災害時の避難先と言えば
小学校だろうから、私は
右上にある小学校に行くわ」

1

ある観光客

「地図で見るとなんだか周りが
開けていそうだから、私は左下
にある安敦寺に向かいます」

2

ある観光客

「こんな時に土地勘がない町を
むやみに動き回るのは危ない。
私は米塩広場に留まります」



3

ある観光客

「神社は災害に強い場所にあると
いう説があるから、わしは右下の
浜一里神社に行こうと思う」

4

ある観光客

「町の職員がいて情報も人も集
まってくるはずだから、僕は左上
にある町役場に行ってみるよ」

5

ある観光客

「地域に詳しい地元住民の
意見に従っていれば安心だ」

6

「車いすのおばあさんと、
車いすを押すおじいさんの旅行者
が、オロオロした様子でいる。
…行動を共にすれば交代で車いす
を押してあげられる。」

7

「一人旅の女性が、落ちてきた瓦
で腕を折って泣き叫んでいる。
腕とは言え何かで固定してあげ
ないと痛くて動けないだろう。」

8

「臨時休館している歴史館の割れた
窓から煙が出ているのが見える。
今なら、まだ簡単に消火できそう…」

9

「ポルトガル人のマルチナさんは、
お土産に手ぬぐいセット（5枚組）
を買ったところだった。」



10

こめしおひろば よすみ
米塩広場の四隅に
しょうかき お
消火器が置かれて
いるのが見える。



11

旅行情報誌
まっぶろ
コラム
いまま ぎゅうしがい とけいだい
今でも旧市街には時計台
をこ えるような2階建て
いじょう たても
以上の建物はなひい…。



12

きんじょ す じょせいふたり
近所に住む女性2人

「安敦寺は鎮めの寺だって聞いた
ことあるけど…」



「川のほとりで
何を鎮めてるの
かしら？」

13

きんじょ す じょせいふたり
近所に住む女性2人

「津波なら高い場所へ逃げるしか
ないけど…」



「1年前の
大津波警報でも
何もなかったわ」

14

とお じもとだんせい
通りすがりの地元男性

「ここは海からは離れているので、
余震が収まるまで広場にいた方が
安全ですよ」

15

てじおかわ む
手塩川はどっちに向かって
なが 流れているんだろう？
なが さき うみ
流れの先に海があるはず…

16

じたく で じょせい
自宅から出てきた女性

「浜一里神社はこんもり
した小さな山なんだけど、
数年前に参道が埋まる
土砂崩れがあったのよ」



17

こめしおひろば
米塩広場には
つなみ く
津波が来ると
い じもとじゅうみん
言う地元住民が
だれ
誰もいないのは、
なぜ？

18

じもと こうれいだんせい
地元の高齢男性

「わしはこの町で
生まれ育ったが、
津波なんか一度も
来たことはない」



19

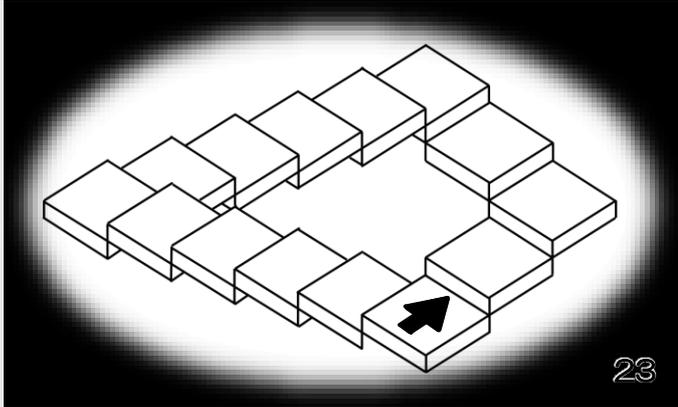
じもと こうれいだんせい
地元の高齢男性

「余震が続く中で山に行って
土砂崩れに巻き込まれたら、
あんた、責任取れるのかい？」

20

ひろば とお みわた たてもの
 広場から通りを見渡しても、建物が
 たたお たお み
 バタバタ倒れているようには見えな
 いが、よしんもあるからちいとお
 余震もあるから小さな通りに
 はい あぶ
 入るのは危ないだろう。

21



23

じたく で じよせい
 自宅から出てきた女性

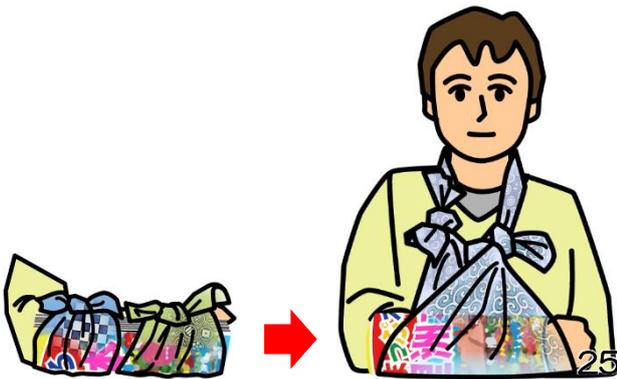
あんとし
 「安敦寺は
 こめしおひろば
 米塩広場より
 メートル たか
 4mは高いわ」



22

こめしおひろば たろうきねんかん
 米塩広場から太郎記念館がある
 ほうこう み とお とお
 方向を見ると、遠くの通りを
 こ たち れつ ひたり みぎ
 子ども達の列が左から右へ
 いどう み
 移動していくのが見えた。

24



25

- ティッピングレバーを踏み込み、
 ハンドルを押し下げる
- ぜんりん たんさ の
 前輪を段差に乗せ、
 こうりん たんさ
 後輪を段差にくっつける
- ハンドルをしっかり握り、
 うし お
 後ろから押す

26

- そものうでま
 添え物を腕に巻く
- まいぬのそものこてい
 2枚の布で添え物を固定する
- まいぬのむすわ
 2枚の布を結んで輪にし、
 くびうでつ
 首から腕を吊る

27



28

たんさ
 段差を
 こ
 超えるコツ



29

- あんぜんせんぬ
 安全栓を抜く
- ノズルを持ち、たいしょうぶつむ
 ノズルを持ち、対象物に向ける
- つよにぎ
 レバーを強く握る

30

※1が下になるように番号順に重ねてから、
裏向きにしてトランプを配る要領で一枚ずつ全て配ってください。

